

ボランティア募集 & イベント情報

寺尾地区子ども食堂

「もみの樹・横浜鶴見」を、ゆったりと勉強・遊びの居場所にしつつ、みんなで一緒にごはんをたべませんか。

【日時】10月12日、26日(第2・4木曜日)16:30~19:30

※帰りの付き添いは応相談

11月以降も第2・4木曜日、同時刻で実施

【場所】もみの樹・横浜鶴見(鶴見区北寺尾4-3-1)

【対象】旭小学校・東台小学校に通学する4~6年生

※きょうだい参加に限り1~3年生の参加も可

【参加費】食事代300円(食事は任意・事前申込制)

【申込・問合せ】電話で、もみの樹・横浜鶴見 金山あて

☎ 580-7180

主催:寺尾地区社会福祉協議会、

もみの樹・横浜鶴見

協力:鶴見区社会福祉協議会



~体験してみませんか~ かんたんな手話と手話コース

【日時】11月9日~12月7日(木曜日全4回)※11月23日は休み
10:30~12:00(初回のみ10:00~)

【場所】鶴見中央地域ケアプラザ 地域ケアルーム

【定員】10名

【参加費】500円(テキスト代込み)

【申込・連絡先】電話で、フレンドの会・鈴木あて

☎ 090-7417-9631

手話サークル“鶴の会”と一緒に手話を学びませんか

初心者大歓迎!講師はろう者二人です。

多くの方のご参加をお待ちしております。

【日時】第2・第3・第4火曜日(月3回) 19:00~20:30

【場所】鶴見区福祉保健活動拠点(区社協案内図参照)

【会費】1か月500円

【申込・問合せ】高橋由美子 ☎ 581-2276(火曜日除く20:00~21:00)

善意銀行 暮らしに、まちに、あなたのお金が生きている

- 金銭寄付者**(敬称略・順不同) ●東寺尾商品開発部 ●中島明高 ●つるみ文芸協会
●海野奎吾 ●Blue town横浜実行委員会 ●神奈川土建一般労働組合横浜鶴見支部
●横浜市生麦地区センター ●広瀬久江 ●匿名(9)
- 物品寄付者**(敬称略・順不同) ●吉兆グループ(4)
- 平成29年4月1日~7月31日
()内は期間中の寄付回数

寄付の方法

- ①区社協窓口への持参 (月~土 9:00~17:00)
②銀行振込 ★物品寄付についてもご相談ください。

振込先

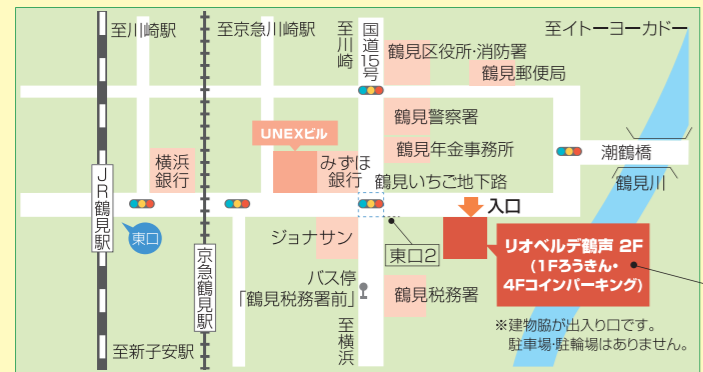
横浜信用金庫 鶴見駅東口支店 普通042900
社会福祉法人 横浜市鶴見区社会福祉協議会
善意銀行 伊藤 学(イトウ マナブ)

- 「福祉つるみ」の発行費は、共同募金配分金を活用しています。●「福祉つるみ」では広告を募集しております。
●一部地域では、障害者地域作業所が配布しています。●次号(第86号)は平成30年2月1日発行です。

鶴見区社協より <http://www.yturumi-shakyo.jp/>

広々・明るい、福祉保健活動拠点です

昨年11月28日、鶴見区福祉保健活動拠点ならびに鶴見区社会福祉協議会は、鶴見川と潮鶴橋の近くにあるビルに移転しました。広々とした団体交流スペースや多目的研修室、相談カウンターになりました。多くの方たちに利用していただけたらうれしいです。



団体交流スペース



相談カウンター



多目的研修室



「表紙クイズ」& 愛読者アンケート

表紙の写真を見てピンときた方、ご応募ください。応募は、はがき・FAX・Eメールで、①表紙のクイズの回答②郵便番号・住所・氏名・電話・性別・年齢③福祉つるみを手に入れた場所④ご意見・ご感想を記入の上、10月31日(必着)までに鶴見区社協「アンケート係」へ。

当選は賞品の発送をもって代えさせていただきます。前号の正解は①旭小学校、応募者数は40名でした。区社協ホームページにクイズのヒントがあります。ぜひアクセスを。

※「表紙クイズ」応募に関わる個人情報、当選者への賞品発送と「福祉つるみ」紙面作成の参考にのみ利用いたします。

QUOカードプレゼント!

鶴見区社会福祉協議会

〒230-0051 横浜市鶴見区鶴見中央4-37-37 リオベルデ鶴声(かくせい)2階
☎ 504-5619 ☎ 504-5616 Eメール:info@yturumi-shakyo.jp

編集委員/河西英彦・中村啓子・蔵本美佐子・桑島主税・佐藤智宏

福祉

つるみ 85

点字・録音版も!

【第85号】2017年10月1日発行/編集・発行◇社会福祉法人 横浜市鶴見区社会福祉協議会 TEL.045-504-5619 FAX.045-504-5616

特集◎鶴見区社協の60年



ここは鶴見のどこの空?

表紙クイズ

鶴見区社協があります。

応募方法はウラ表紙をご覧ください

- ①UNEXビル ②鶴見会館 ③リオベルデ鶴声

撮影日:2017年8月18日



鶴見区ならではの地域福祉の充実をめざして

キーワードでたどる

鶴見区社協60年の歩み

～ 鶴見区制90周年をきっかけに～

社会福祉協議会は、地域が抱えているさまざまな福祉的問題を地域全体の問題としてとらえ、住民主体の理念に基づき、住民みんなで考え、話し合い、協力して解決を図ることを通じて地域福祉の推進を図ってきました。

鶴見区が誕生して90年。その歴史の中で、鶴見区社協はどのような役割をはたしてきたのか、ふりかえってみます。

昭和 2 年

鶴見区誕生

- 昭和 2 年 10 月
鶴見区誕生
人口 62,446 人
(神奈川・中・保土ヶ谷・磯子でも区制施行)



1927

●赤い羽根共同募金

寄せられた募金の配分を受け、区内の福祉活動の充実にあてる。区社協は募金の事務局を担う。募金運動は毎年 10 月 1 日から



昭和 26 年

鶴見区社協結成

- 昭和 26 年 4 月
民間の社会福祉振興を図る目的で結成。その後、在宅サービス活動の整備などに取り組んできた
- 平成 5 年
社会福祉法人格を取得

1951

1957

社協といえは

■鶴見区ボランティアセンター

ボランティアをしたい人と依頼したい人をつなげるほか、講座開催やボランティア保険の受付も

■福祉教育

福祉体験プログラムの実施、企業の地域貢献事業の支援、車いす・アイマスクなどの福祉機材の貸し出し、学生向けボランティア体験のあっせん

●区社協に福祉関係団体の事務局

日本赤十字社鶴見区地区委員会、共同募金会鶴見区支会、鶴見区更生保護協会、鶴見保護司会、鶴見区更生保護女性会、鶴見区遺族会の事務局がある

社協といえは

■地区社協の活動支援

地区社協はおおむね連合自治会エリアごとに構成され、福祉のより行き届いた地域にするために住民主体でそれぞれ工夫して取り組んでいる。区社協は情報の提供や助成、活動従事者の人材育成などを行う



昭和 41 年設置

善意銀行

寄付された現金や物品を受け入れ、必要とされる方や団体に配分する仕組み

助成金

善意銀行への寄付は、福祉保健活動団体に対する助成金となり、資金面で団体の運営を支えている

●草の根の活動・食事サービス

住民の自主的な活動が区内のさまざまな地域で草の根的に広がり、発展を続けながらその数は増えていった



鶴見・あいねっと (鶴見区地域福祉保健計画)

区域で地域福祉を推進するうえでの目標や取組内容等をまとめた、いわば福祉の「道しるべ」。計画の愛称「鶴見・あいねっと」は、公募で名付けられた。鶴見区全体の計画と、連合町内会単位ごとに地区の特徴を生かしながら取り組む活動をまとめた地区別計画がある。現在、第3期・5年間の計画が進行中



1987

2000

平成 12 年

送迎サービス 外出支援サービス

車いすにも対応できる車両をボランティアが運転し、公共交通機関の利用が難しい在宅の高齢者や障がい児者、難病患者の外出を支援している

●鶴見区災害

ボランティア ネットワーク

大規模な災害時に設置され、かけつけるボランティアの受け入れ・派遣調整や作業指示の円滑化を図る拠点として機能する「鶴見区災害ボランティアセンター」の運営主体



平成 14 年

あんしんセンター (日常生活自立支援事業)

金銭等の管理に不安のある高齢者、障がいのある方の財産と権利を守る事業。全国的には介護保険制度の施行とあわせて平成 12(2000)年からスタート。鶴見区では平成 14(2002)年から行っている

●広報紙「福祉つるみ」発行

昭和 60(1985)年 3 月創刊。「福祉の風土づくり」事業が進められるなか、区民への啓発を目的に発刊。新聞形式からパンフレット形式、カラー化を経て現在に至る

●鶴見区役所 → 鶴見会館 → UNEX ビル → リオベルデ鶴見

鶴見区役所に事務所を設けてから、鶴見会館、UNEX ビルと移り、平成 28(2016)年 11 月に移転した現在地が 4 か所目



リオベルデ鶴見

後期高齢者が人口の 5 分の 1 を占める 2025 年問題や、引きこもりや孤独死など、自助・共助のあり方が問われています。それは鶴見区も例外ではありません。

一見、個別的な課題を住民同士が「わが町、わがこと」として受け止め、主体的に話しあい、近隣の住民を巻き込んで解決する中で、必要な社会資源を自らつくりだしていく新しい地域づくりを、社協としても積極的に進めていきます。

平成 25 年

身近な地域のつながり・ささえあい活動推進事業

制度の狭間で解決できない一人ひとりの困りごとに着目し、こうした個別課題への対応を通じて、住民とともに地域づくりを進める取り組み

2013

2007

2017

2017

平成 29 年

移動情報センター

障がい児者の移動・外出に関する情報提供や相談支援を行う窓口。ガイドボランティアの登録なども行う

